

第10回TIAパワーエレクトロニクス・サマースクール開催報告

第10回TIAパワーエレクトロニクス・サマースクールは、TIAパワーエレクトロニクスMGと産業技術総合研究所主催のもと、8月21日～22日の日程で行われました。サマースクール運営に携わった筑波大学 岩室憲幸教授にお話を伺いました。

TIAパワエレMG主催となるTIAパワーエレクトロニクスサマースクールは、今回で記念すべき第10回目となりました。新型コロナウイルスの影響により、昨年に引き続きWeb講義形式での開催となりましたが、例年通り学生、企業から多くの受講希望があり、受講者は156名でした。

カリキュラムは、1日目基礎、2日目応用として、11名の講師により90分(大学講師)、60分(企業講師)の講義をいただきました。木本教授、赤木教授、松波教授など世界的にも著名な講師だけでなく、パワエレを代表する企業からも、SiCデバイスについて三菱電機の大井氏、GaNデバイスについてパナソニック株式会社の石田氏、UPS/PCS技術について富士電機の山田氏、自動車応用に関してミライズテクノロジーズ(トヨタ・デンソーグループ)の鶴田氏、電力ネットワークについて東芝ESSの田村氏、鉄道応用に関して日立製作所の石川氏に講義をいただきました。Webでの開催でしたが、モデレータの誘導により、各講義後は活発な質疑が行われました。

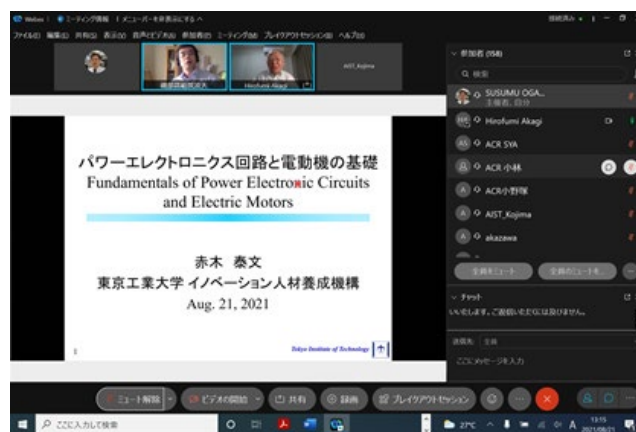
初めての試みとして、学生のポスター発表(28件)、および企業紹介(3件)を、入退室自由のブレイクアウトセッションにて開催しました。学生の発表にはコアタイムを設け、3班に分けて発表を行いました。最初戸惑いもあったようでしたが、100名以上が最後まで参加しており、面白かった、活発な議論ができた、勉強になった等の感想も寄せられ、参加者同士の交流の機会となりました。

スクール全体を通して、大きなトラブルなく開催できたことについて、講師の皆様および受講者各位に感謝したいです。

各講師のスペースを設け、講義終了後も1カ月ほど受講者からの質問を受け付けました。

参加者交流スペースには参加学生のポスターを掲示し、相互の交流を図りました。

- 第1日目 基礎(技術史とパワエレ基礎、現状と課題)
- 第2日目 応用(ワイドバンドギャップ半導体への期待)



開催日	2021年8月21日(土)～22日(日)
場所	WebexによるWeb講義形式
主催	TIAパワーエレクトロニクスMG、産業技術総合研究所
共催	筑波大学大学院数理物質科学研究群
後援	TIA運営最高会議
参加人数	156名 内訳：学生95名(大学院生68名、学部・高専生27名) 社会人61名(TPEC参画企業45名、一般企業13名、公的機関3名)

TIA連携大学院 News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。 <http://tia-edu.jp>



●編集・発行・連絡先：
国立大学法人 筑波大学TIA推進室 tia-edu@un.tsukuba.ac.jp
〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1